

議会だより

しょうわ

2015.10.22

No. **167**

山梨県昭和町議会
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

息を合わせて
1、2!
1、2!!

第4回議員防災訓練

議員AEDを学ぶ ②

健全財政の維持を推進 ④

一般質問 ここが聞きたい ⑫

告知 広報編集委員による
“議員記者が行く”を始めます ⑫②

Dを学ぶ

7 AED使用 電気ショック時は離れて



6 AED装着

5 人工呼吸



・公共施設一覧

公共施設…計14ヶ所

昭和町役場庁舎

総合会館

総合体育館

温水プール

町立図書館

町内小中学校(4)

釜無工業団地公園運動場管理棟

押原公園管理棟

西条児童館

常永児童館

児童センター

町HPに掲載しています

4 胸骨圧迫・心肺蘇生



④～⑦は状況に応じてくり返す

第4回 議員防災訓練

議員 AED

平成27年8月27日、昭和町議会災害対策本部設置要綱に基づき、第4回議会防災訓練を行いました。議長から参集の連絡を受け、役場中央公民館にて救命処置の講習を受けました。甲府地区消防本部の方々に協力をいただき、AED（自動体外式除細動器）の操作方法を踏まえ、応急手当の基本を学びました。



AED設置コンビニエンスストア

コンビニ…計19ヶ所

セブンイレブン

昭和西条店
昭和町NTT前店
昭和西条南店
昭和バイパス店
昭和紙漣阿原店
昭和町飯喰店

ファミリーマート

甲府昭和店
昭和国母店
昭和バイパス店
甲府昭和インター北店
昭和町飯喰店

デイリーヤマザキ

甲府昭和インター店
甲府昭和バイパス店
昭和上河東店

ローソン

昭和西条店
昭和西条梅ノ木店
昭和清水新居店
釜無工業団地北店
昭和常永店

1

反応確認

救命処置の流れ



2

応援を呼ぶ

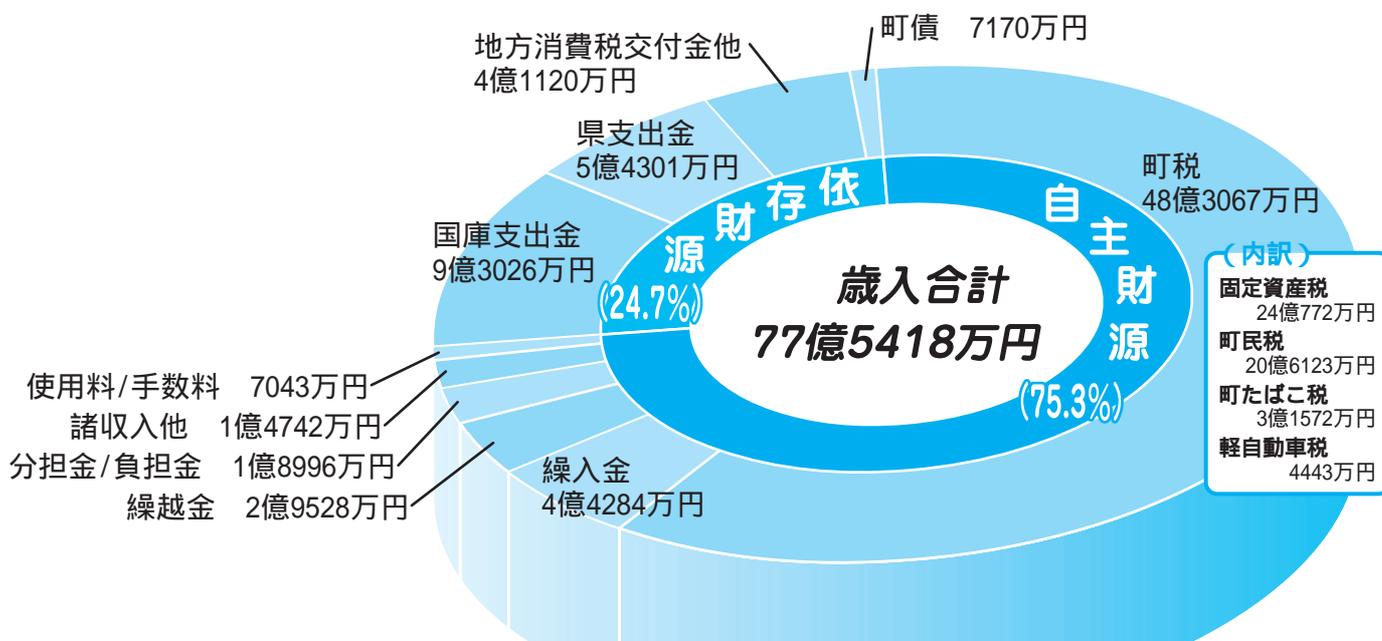


3

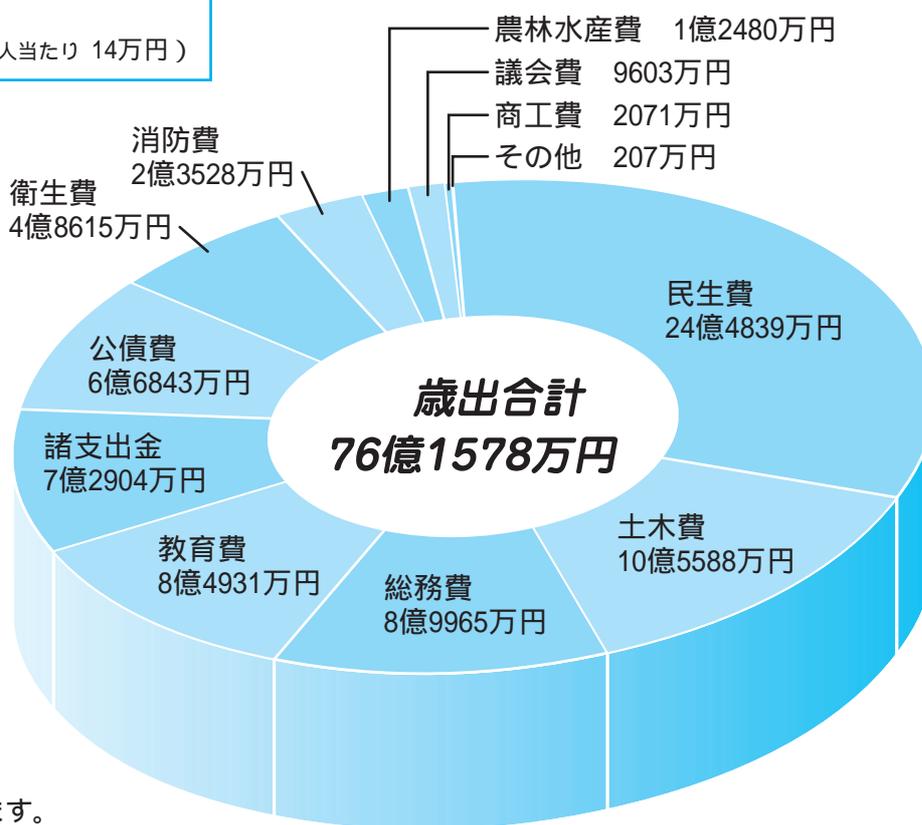
119番通報
AED依頼



維持を推進



町債(借金)の累積残額	
[一般会計]	61億2492万円 (1人当たり 32万円)
[下水道事業]	58億9440万円 (1人当たり 30万円)
[合計]	120億1932万円 (1人当たり 62万円)
基金(預金)の累積残額	
	28億3031万円 (1人当たり 14万円)



数値は端数調整してあるため
合計が一致しない場合があります。

平成26年度
一般・特別会計
決算を認定

健全財政の

決算特別委員会は、9月9日から16日までの8日間開催されました。
第3回定例会で決算特別委員会に付託された、一般会計、特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、介護サービス、下水道事業、湯水対策事業）に対し、監査委員の意見書及び各課長から説明を受けました。いずれも慎重審査の結果、全員賛成で認定しました。

平成26年度決算のあらまし

一般会計は76億1578万円、特別会計は6つの会計を合わせて36億8780万円となり、計113億361万円の歳出決算となりました。
平成25年度と比べて約1.01%増加しています。これに対し歳入決算は、歳出決算を5億1109万円上回る、118億1470万円となりました。経常収支比率（ ）は、79.0%で前年度より9.9%減少しました。

町民1人あたり
約39万円
特別会計を含めると
約59万円使いました。
H27.3.31現在
人口 19,136人

経常収支比率とは

義務的経常経費（人件費や扶助費、公債費など）に一般財源収入がどの程度充当されているかを示すもの。町村では70%程度が望ましい。

教育費



- ・小中学校費
2億7399万円
- ・学校給食費
1億7182万円
- ・温水プール運営費
7861万円

土木費



- ・道路維持費
1億7625万円
- ・常永土地区画整理事業公有財産購入費
1億1859万円
- ・押原公園指定管理委託
2164万円

〈一般会計〉

おもな使いみち

民生費



- ・保育所運営費
5億9671万円
- ・子育て支援医療費
7872万円
- ・家族介護用品・福祉サービス支給事業
1337万円

総務費



- ・事務機及びシステム借上
4525万円
- ・地域力活性化交付金
2470万円

衛生費



- ・中巨摩地区広域事務組合負担金
1億5487万円
- ・一般廃棄物収集運搬処理委託
6111万円
- ・人間ドックほか健康診査委託
4793万円

消防費ほか



- ・甲府地区広域事務組合負担金
2億269万円
- ・農業施設復旧支援対策資金補助
4071万円
- ・町商工会育成事業補助金
1067万円

公債費

（借金返済）



6億6843万円

諸支出金



- ・基金積立金
7億2904万円

（千円以下切捨て）

平成26年度特別会計決算

(千円以下切捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額	結果
国民健康保険特別会計	18億6945万円	17億974万円	全員賛成で認定
後期高齢者医療特別会計	1億3766万円	1億3674万円	
介護保険特別会計	8億7708万円	8億5918万円	
介護サービス特別会計	1517万円	1499万円	
下水道事業特別会計	9億7517万円	9億6227万円	
湧水対策事業特別会計	726万円	488万円	

数値は端数調整してあります。

平成26年度健全化判断比率等の状況

平成26年度決算に基づく健全化判断比率は、基準を下回っているため、**健全である**といえます。

財政健全化判断比率(%)

	実質公債費比率	将来負担比率
比率	10.3	45.9
早期健全化基準	25.00	350.00

実質公債費比率は25年度と比べ、0.8%増加しました。将来負担比率は25年度より7%減少し、実質的な標準財政規模に対する負担比率は低くなりました。実質公債費比率・将来負担比率ともに比率が小さいほど財政状況は良いと判断します。

財政力指数(単年)

	H24	H25	H26
	1.12	1.14	1.10

地方自治体の財政力を示す指数。3年平均で1未満だと交付団体になる。

決算審査意見

経費削減や事務事業の効率化を評価、均衡ある発展と規律ある財政運営を望む

監査委員
石原 政彦
河住 保茂

平成27年8月3日から12日まで審査しました。

財政構造の指標である財政力指数は前年度に比べ減少しており、公債費負担比率は微増している。ここ数年の財政硬直化の状況から弾力的傾向に転じているが、基金の現在高等、今後も憂慮する状況で、引き続き対応策を望む。

今後の地方債発行は財政構造の健全性を損なわないよう留意されたい。企業税収の依存度が高い本町は、国母・釜無工業団地企業等との関係を密に企業支援策も考え、迅速な対応と産業の町「昭和町」の発展を望む。

税・料金等の滞納が多額であるが、昨年度新設された収納課による法的手段等で、滞納徴収率の向上を確認した。今後は、料金等も町全体の問題として取り扱っていただきたい。

一般会計から各特別会計の繰り出し金が多額となっており、受益者負担の観点から、使用料および料金等の見直しを検討し減額に努められたい。

国内でも大きな問題である人口減少は、対応策を講じている区画整理事業の宅地開発に伴い、常永地区は急速な発展をしており、常永小学校および押原中学校の教室不足に対応する予算など、学区問題も含め計画的に対応する必要がある。

「総括」
適正な行政運営が行われており、特に経費削減の取り組みや、事務事業の効率化が図られていた。健全財政の維持を最優先課題に財政運営を図り、町民福祉充実のため、引き続き努力されるよう要望し、地域の活性化・個性等、実情にあった発展を期待する。

さあ議員全員でチェック



決算審査特別委員会

交通安全、 白線引き直しは

三井議長 西条一区や他の区でも町内道路の白線が薄いため、交通安全上心配の声がある。町内全域を調査し、白線の引き直しをお願いしたいが。

企画財政課長 通学路は教育委員会や建設課をはじめ、PTAや学校の先生が点検し、要望が出たところに対応している。計画的に実施できるよう努力したい。
石原(高)議員 残高不足で税等の引き落としができなかった場合、督促状で対



徹底した白線の管理を

応しているが、将来的に銀行から本人に連絡をするとはできないか。2、3日の遅れで残高が確認でき、再度引き落としができれば、督促状を出す手間も省けるのでは。

収納課長 何千件ものデータの中の数件を、再度引き落とし作業はシステム管理上難しい。銀行から連絡をすることが可能か確認することができるのか、実務的な課題として、金融機関とのデータ作成や、引き落とし手数料の発生が挙げられる。他市町村の対応方法も調査していきたい。

生産調整奨励金 助成は

依田議員 新生産調整推進事業で、184戸の農家に219万円の奨励金助成だが、1戸当たりの金額が少ない。奨励内容と効果は。

環境経済課長 旧転作奨励金として、市街化区域および調整区域内で米を作付けしていない農家に支給していたが、平成27年度は廃止した。
中澤議員 山伏川付近に設置されているポンプは交換したのか。老朽化による水漏れも見受けられるので対応を。

環境経済課長 交換ではなく、配管を強化して振動にも耐えられるよう修繕した。点検して交換が必要なところは対応する。

幼稚園就園奨励費 の対象幼稚園は

石原(一)議員 幼稚園就園奨励費として、143人に出ているが、対象幼稚園は。

学校教育課長 町内在住者が通う町外19園の幼稚園。
遠藤議員 10人乗りワゴン車の借り上げ料が平成25年度と比べ、12倍くらい増えた理由は。

学校教育課長 借り上げ開始が平成26年3月からの1カ月間のため、25年度と26年度では金額の差が生じる。

林議員 就学援助費は137世帯あるが、基準は。
学校教育課長 町民税非課税世帯、生活保護世帯など。
鷹野議員 県の日本語指導教員の配置基準は。

教育長 実情に合わせての配置で特に基準はない。

平成27年度補正予算

子どもたちのために 教育環境の充実を図る

一般会計 全員賛成で可決

一般会計は固定資産税滞納繰越分を500万円、同税延滞金を200万円増額し、ほか国庫および県支出金を増額補正しました。県議会議員選挙・町議会議員選挙の不用額、常永小学校増築に伴う設計管理業務委託費および工事費を増額補正しました。

また、歳入歳出余剰金を財政調整基金へ積み立て、予算総額を70億6848万円としました。



常永小学校内の教室

特別会計 全員賛成で可決

国民健康保険特別会計	5411万円増(総額：21億711万円)
介護保険特別会計	1947万円増(総額：9億8506万円)
下水道事業特別会計	2400万円増(総額：10億2413万円)

条例改正

- ・個人情報保護条例中改正
- ・手数料条例中改正
- ・行政手続きにおける特定の個人を認識するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う改正。
- ・手数料については「通知カード再交付手数料として1枚につき500円」を追記する。

その他

- ・字区域及び名称の変更(昭和町常永土地区画整理事業地内)
- ・字区域及び名称の変更(昭和町立常永小学校周辺)

全員賛成で可決

人事

- ・固定資産評価審査委員
選任

堀内 正美 氏
(飯喰945番地)



任期3年(10月1日付)
全員賛成で同意

9月議会で 決まったこと

平成27年9月定例会は、9月3日から17日まで15日間の会期で開かれました。町長提出の平成27年度一般会計および特別会計補正予算4案件のほか、固定資産評価審査委員の選任1件、条例の改正2件、その他2案件の計9案件を審議しました。一般質問では7人の議員が10件について活発な質問・意見を展開しました。

請願

山梨県に対して障害児と健常児の医療費助成制度による格差解消を求める請願

【請願者】

昭和町障がい者福祉会・知的障害者相談員

【紹介議員】

河住 保茂議員

【趣旨】

重度心身障害者医療費助成制度において窓口無料方式から自動還付方式へと変更されたことで、障がい児と健常児との間で医療機関にかかる際、格差が生じている。小児だけでも安心して医療機関にかかれるよう、格差解消を求めたい。

【議決結果】

全員賛成で採択

【意見書提出先】

山梨県知事

意見書

地方単独事業にかかる国保の減額調整措置の見直しを求める意見書（案）

【提出者】

河田あけみ議員

【趣旨】

地方単独事業による子ども等にかかる医療費助成と国保の国庫負担の減額調整措置のあり方と、子育て支援や地域包括ケア等の幅広い観点から、実効性のある施策を進めることが必要なため、子ども等にかかる支援策を総合的に検討してほしい。

【議決結果】

全員賛成で可決

【意見書提出先】

内閣総理大臣・厚生労働大臣・財務大臣・総務大臣・内閣府特命担当大臣

議員提出議案

平成27年度議会議員県外視察研修の実施

【研修目的】

地方分権一括法が施行され、地方自治体の自己決定・自己責任の拡大に伴い、地方議会の責任や役割はますます注目をされ重要視されている。昭和町は地方交付税の不交付団体として健全財政を保ち人口は増加を続けているが、今後の町の将来を見据え、議会としても行政運営に対し住民の立場に立ってしっかり判断を行っていかなければいけない。そこで県外の先進地事例を調査研究し、学び、町の発展に資することを目的に実施する。

【実施機関】

平成27年10月20日（火）
～22日（木）

【研修先】

- ・宮城県名取市（東日本大震災に伴う復興状況、防災計画等について）
- ・宮城県加美町（文化および

文教施設について）
・福島県郡山市（議会活性化災害に対する議会の対応・本会議ネット中継他、音楽によるまちづくりについて）

【参加者】

町議会議員16人・町長・議会事務局長（随行）
全員賛成で可決



総務常任委員会

企業の業績状況は

田中議員 国母・釜無工業団地等、大手企業の予定納税の還付金がないが、今現在、企業の業績状況は。

税務課長 昨年と比較すると、町全体の税収状況は8月末現在2、000万円余り増えている。しかし、企業の申告書等では世間で言われているほど景気の回復は見られないので、最終的には税率の改正もあり平成26年度決算より減収になると思われる。

イオンモール交差点に誘導員を

塚原議員 身延線を利用し常永駅からイオンモールに行くのに、横断歩道を渡らず県道(市川三郷線)を横切る若者が非常に多い。交通量も多く危険回避のため、土日だけでも誘導員の配置をお願いしたい。

企画財政課長 イオンモールと協議し検討する。
石原(高)議員 ふれあいペンダントは10月より民間に委託される。昨年甲府広域に支払った負担金と、10月

から民間に払う委託料はいくらか。

総務課長 平成26年度の保守委託料はNECに1,016,784円、事業負担金として甲府広域に36,313円支出。27年度の委託料も同額。負担金はNPO法人やまなし安全安心見守りセンターに払う。9月までの支出状況は21,419円。支払額は昨年と比較してさほど変わらない。
河住議員 他市町村では女性の消防団員が増加しているが、町でも女性の視点を生かしたケアや、救援等を担う女性団員が必要だと思つが。

企画財政課長 団員の確保は各区とも区役員と消防団員が協力し募集を行っているが、なかなか集まらない状況男女問わず希望者がいれば加入してほしい。

中澤議員 河東中島区ではAEDと心臓マッサージの訓練ができなかったが、町で訓練用のAEDを購入し貸し出したらどうか。

企画財政課長 昨年度補正予算で一基購入した。担当課や当課でも管理しているので貸し出すことは可能。

産業土木常任委員会

河西区への地番変更は可能か

塚原議員 上河東区となる区画整理事業の中で新居を構えた場所があるが、河西区への地番変更は可能か。

都市整備課長 申し出の場所は上河東地番となる予定だが、変更は可能。区域の変更案を今議会に提出する。

緊急輸送道路は

石原(高)議員 緊急輸送道路について、耐震化を実施する可能性が低いとされる物件の対応は。災害時等に使用する道路のため検討が必要では。

都市整備課長 実施を促す指導は行つが、中には補助対象とならない物件もあり、持ち主には個人負担で行っていたらしく所

もある。時間をかけてPRしていきたい。

プレミアム商品券の利用状況は

依田議員 8月10日現在で43・2%が消費された。利用店舗の内訳は。

環境経済課長 大型店舗95%、中小店舗で5%。



石原(一)議員 紙漕阿原区圃場整備内の水路の老朽化により水漏れや水の噴き出し等の被害が出ている。全面改修する予定は。

建設課長 全面改修の予定はないが、各地区の要望により随時改修を行っている。今後も予算の範囲で対応していく。

教育厚生常任委員会

個人番号カードは

河田議員 今までの住民基本台帳カードは今後、申告時には使えない。持っている利点はあるのか。返却をしなければならぬのか。

町民窓口課長 住基カードの公的個人認証の有効期限は3年間だが、身分証明として10年間は使える。基本的に個人番号カードの申請時に住基カードを返却していただき交換する。個人番号カードの電子証明は5年で更新制度開始後、届出の申請時には、顔写真がついている個人番号カードを提示するほうが、スムーズに手続きができる。

河田議員 平成29年7月から地方公共団体との情報連携とあるが、具体的な内容は。

町民窓口課長 公的機関への住民票、所得証明書の添付の必要がなくなり、それぞれの機関での情報連携により照会することになる。

鷹野議員 保育対策等促進事業費が200万円ほど増加しているが。

福祉課長 げんき夢保育園の病児保

育の受入人数が当初より増えたため。依田議員 介護保険料が前に上がったが、基金・年金の積み立て、返済金も持続的に進めるのか。

いきいき健康課長 介護保険料の値上げは年次計画でなく、第6次総合計画の中で平成27年から29年の3年計画によるもの。その3年間は保険料改定ができない。対象者が増加しており、1年、2年と基金を積み最終年度で返済金が精算できれば好ましい。

林議員 来年度、清水新居区から西条小学校へ通う児童が10人で計70人ほど町内の学校へ通う。通学時間帯に国道交差点に交通指導員の配置が必要では。

教育長 すでに車止めのポール等の安全策はある。交通安全指導員の配置は、保護者の要望を聞き今後検討したい。

地方分権対策特別委員会

将来の人口ビジョンは

依田議員 町長の具体的施策の中で、町の魅力を発信する方法として、紙媒体だけでなく、フェイスブック等SNSの利用も必要では。

総務課長 H P や SNS 等の活用も加味し、情報発信を充実させたい。

河田議員 合計特殊出生率（ $\text{}$ ）はこれからも増加する傾向か。

政策秘書係長 将来人口の展望にあたり、国の示す出生率に準じて町として試算したもの。

2060年には平均2.07と推定したが、率の向上に向けて子育て支援等、施策の充実を図りたい。

田中議員 定住人口増加のための施策は。

用語解説

合計特殊出生率

一人が生涯に生む子どもの数の平均値。
ある年の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合わせたもの。



施策を問う

ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 施設整備と

行政機能の再編成は

A 優先順位を考え

建設に努力する



石原 高明 議員

石原

中央公民館は開館以来44年が経過し、再

整備を検討する時期にきている。図書館も人口増加や機能の変化を踏まえ手を加える時期にある。生涯学習館の建設と町民活動支援センターの転用は町として大きな計画だが、十

分な議論が必要だ。

そこで、老朽化した中央公民館を取り壊し、町民活動スペースを併設した会議室主体の庁舎増築案を提案したい。合理的な行政運営、災害時対応や情報セキュリティなどリスク管理が効果的に実施できること、施設の利用範囲が拡大でき、会議室不足や災害対策の拠点機能も充実し、中央公民館改築効果が十分期待できる。町長の考えは。

町長

新しい生涯学習館（仮称）などの整備は町の重要施策のひとつで、早急な対応を迫られている。児童

館の改修や建設、常永小や押原中の校舎改修や町民センタ

ー確保などの検討も必要だ。これらの課題解決には予算的な裏付けが必要で、十分な検討と優先順位を考え、建設に前向きに努力することが大事だ。町民の意見を聞き、有識者・関係諸団体の代表・議会代表・子育て世代の代表・一般町民代表などで構成する建設委員会を設置し、検討できないか考えている。限られた予算を有効に活用することや、町民の誰もが利用しやすい施設となることを最優先に、今後引き続き検討を行い、新しい生涯学習館などが、昭和町の文化活動や人づくりの拠点としての機能を、十分果たせる施設となるよう努力していきたい。



活動スペースを併設した庁舎改築を

Q まちづくり基本条例の制定は A 町政運営の基本姿勢に努める



よだ しげみ 議員 依田 茂巳

依田

昭和55年に制定された町民憲章をもとに、総合計画の中でも5項目からなる行政経営の基本原則で、まちづくりが行われている。

協働・協創によるまちづくりの充実に基本条例制定は必要と考えるが、町長の考えは。

町長

地域力活性化交付金の創設など自治会の自由な活動への支援のほか、町政運営の基本として町民の意見や、議会と協議しまちづくりを推進しており、あらためて条例を制定するより、こ

再質問

の町政運営の基本姿勢を崩すことなく努めていくことが大事と考えている。

依田

基本条例のポイントは、行政・議会の行動の進化と、町民の方々の位置づけをしっかりと決める、の2点がある。町民と行政・議会の3者が協働してつくる過程・プロセスが大切だ。マイナス要因や障害は、3者が協働し進めれば生まれてこない。再度考えを問う。

町長

町民意見を聞き、協働型の行政運営に取り組んでいる。条例制定より、引き続き町政運営の基本姿勢を推進すべきと考えている。

Q 防災マニュアルは

A 自主防災組織を充実強化

依田

防災組織づくりは町全体でどのようになっているか、訓練や集合地・避難地・避難場所の見直しはどのように考えているのか。

町長

自主防災組織はコミユニティー活動の核となる。班単位での防災行動や事例を区長会で紹介し、実践的な訓練を行うようお願い

まちづくり基本条例のイメージ



町民の役割

情報共有
町民参画
協創・協働

議会の役割

行政の役割

Q 災害時対応施設の環境充実

A 精神的な不安軽減にも努める

依田

大規模災害時に避難所生活の大きな課題点で、トイレ設置数や衛生状況、高齢者・女性・子どもへの配慮が必要だ。マンホールトイレの設置が望ましいが、町の考えは。

町長

トイレについてはリース会社と協定を締結しており、避難所が必要とされるトイレの個数は確保している。高齢者や女性専用トイレは区別して設置したい。また、避難生活が長期化するような場合は早めに仮設住宅を設置し、精神的な不安軽減にも努めていきたい。

Q マイナンバー制度は A 情報管理を徹底する



あいの よしひさ
薬袋 義久 議員

薬袋 国民すべてにマイナンバー（個人番号）が通知され、来年1月から制度開始になる。この制度は今後の町民サービスの向上にも寄与する。

重要な政策が町民に知らされていない。町民にどんな方法で周知徹底を図り、理解を深めていくのか。

日本年金機構の情報漏えい問題は、日本の情報の根幹を揺るがす大問題だ。県内の企業でもパソコンに侵入され、

21万人分の個人情報盗まれるなど、重要な情報が簡単に外に漏れる危険がある。町民に対する安心・安全の確保をどのように図り、情報を管理していくのか。

マイナンバー制度のシステム化で、経費の増大が懸念される。どう財源を確保し、町民サービスの向上を図るのか。以上3点について当局の考えを問う。

町長 社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤だ。

9月の広報とともに各世帯にパンフレットを配布し、通知カードが送付される10月には広報へも掲載する。

全職員対象に情報セキュリティ研修を実施、セキュリティ

イ遵守の重要性や電磁的記録媒体の取り扱いなど、実例を交えながら行った。個人番号の付番は、専用回線を使うため安全性は確保される。基本的に外部のインターネットと接続されたシステムでの個人番号の利用はしないなど、セキュリティポリシーの徹底を図っていく。

システム改修や構築は、人件費の軽減にはつながらないと考えている。改修等の費用は国庫補助金が予定されているが、一定の基準額までしか補助がない。システム改修費は基準額以上に必要となり、超えた費用は地方交付税措置となる。地方交付税不交付団体である本町では、一般財源で措置することになる。今後職員も資質向上と町民サービスの向上に努める。



さまざまな不安を背景によいよスタート

Q 清水新居の委託児童の終了は A 円満な解決策を探りたい



はやし 林 かずひと 議員

林

戦後間もない昭和23年清水新居区の児童・生徒を、

甲府市立国母小・中学校に正式に委託することを決定し、要綱を交わしている。昭和23年当時の清水新居区の児童・生徒数は72人で、昭和村には16人が通学しており、甲府市通学は56人という状況であった。

平成27年6月現在の清水新居区の児童は69人で、西条小学校には46人が通学しており、甲府市への委託児童数は23人（国母小10人、貢川小9人、石田小3人、湯田小1人）と

なっている。中学生は38人で押原中に23人が通学しており、甲府市への委託生徒数は15人（南西中8人、富竹中5人、西中1人、南中1人）となっている。近年、委託児童と生徒数は減少している。

同じ地区に居住しながら、複数の学区に通学するメリットはなく、長い歴史の中で今日に至っているが、行政の責任として期限を区切り、委託終了を決断する考えはないか。

教育長

「町づくりは人づくりから」と

いう考え方で、教育には力を注ぎ、積極的な施策を実施してきた。環境に配慮した先進的な学校施設の建設・町単教職員の配置・教育指導監の配置・コミュニケーションスクールの実施・給食費の一部補助などの教育施策は、県下に誇れるものだ。

全ての町民がこのような施策の恩恵を受けることは、町としても望ましいことと考えている。平成26年度からは、清水新居地区の新入生の保護

者に対し、就学する学校の確認を行うための文書に、昭和町の教育施策を盛り込んだものを配布し、町内の小学校へ入学することのメリットをアピールするようにしている。また、同様に教育委員会の窓口でもメリットをアピールし、昭和町の小学校へ転入学するように積極的に働きかけている。

今年度1・2年生が義務教育を終了することを目途に委託を終了することは、町だけの判断で行うことはできないが、町としても積極的に取り組んでいき、円満に清水新居地区の小中学生が昭和町内の学校へ入学できるように努力をしていきたいと考えている。



登校する児童たち

Q 官民連携のチャレンジデー参加は

A 健康増進ができるよう努力していく



かわずみ やすしげ
河住 保茂 議員

河住 チャレンジデーは平成5年に始めたもので、毎年5月最終水曜日に世界中で実施されており、住民参加型のスポーツイベントとなっている。人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上連続して何らかの運動やスポーツをした住民の参加率を競い合い、対戦相手に敗れた場合は、相手自治体の旗をメインポールに翌日から1週間掲げ、相手の健闘をたたえるという、ユニークなルールが特徴となっている。

年齢や性別を問わず、誰も

が気軽に参加でき、住民の健康づくり、スポーツ振興、地域活性化のきっかけづくりに最適なスポーツイベントで、行政が中心となり、地域住民やスポーツ団体・企業・学校・自治会と連携し、地域スポーツの振興を目指すことが目的だ。官民連携したこのまちづくりチャレンジデーに参加する考えは。

町長

町民がスポーツを通し、健康で明るい生活を



スポーツイベントを盛んに(押原公園でのラジオ体操)

送ることができるように、さまざまな施策を実施している。11月に開催される「昭和町スポーツフェスティバル」、春と秋の球技大会の開催、「ふれあいラジオ体操」の開催、スポーツ推進委員の行う「子どもスポーツ教室」、「水の運動会」、体育協会専門部の各種大会、教育委員会と体育協会専門部が開催する「初心者テニス教室」、「初心者バドミントン教室」などに多くの町民が参加し、健康増進に取り

再質問

組んでいる。「スポーツによるまちづくりチャレンジデー」への参加は今現在、さまざまなスポーツイベントが1年を通し開催されており、スポーツに関する行事は、すでに十分行われている。町としては、今後これまでの各種スポーツイベントに多くの町民が参加し、楽しくスポーツに親しみ、健康増進を図ることができるよう、引き続き努力をしていきたい。

河住

5月の第4水曜日を昭和町のチャレンジ・

スポーツの日にすることで、幼稚園・小中学校、もっと幅広い層が参加できる。一度に一斉に行うイベントの日をつくったらどうか。

生涯学習課長

体育協会やス

ポーツ推進員などと連携し各種事業を行っており、チャレンジデーでなくとも、子どもから高齢者まで気軽に楽しめる町を挙げて取り組む競技を実施している。

Q 農業委員会改革で町の方針は A 県や農業会議等と慎重に協議



田中 博愛 議員

田中 農業改革の3本柱に、農業委員会の見直し、農地を所有できる法人、農業協同組合の見直しがある。農業委員会の見直しの中身は、農業委員の選挙・選任方法の見直し、農地利用最適化推進委員の新設、農業委員会事務局の強化等がある。

農地面積200ヘクタール以下の市町村は、農業委員会を設置しなくてもよく、本町の農地面積はそれ以下となっている。現状維持か廃止か、さらに対案があるのか、町の考えは。

町長 現在の昭和町農業委員会の構成は公選（選挙）委員11人、関係3団体からの推薦委員5人の合計16人で、長く無投票の状況が続いている。町内の農振農用地は約160ヘクタール。

町は今回の制度見直しに対し、農業委員会の意見を集約し、今後の農業委員会の方向性を示すため、県や農業会議等と慎重に協議・検討し、再来年度の改選時に向けて対応していきたい。



農業委員会は何のために

Q 昭和王穂中央通り線の進捗状況は

A 計画道路状況を見て進めていく

田中 町長はこの計画がリニアのアクセス道路として必要不可欠で、10月完成予定の西条・昭和インター線の開通後に、計画実現に向けて進めるとしている。優先順位を速める考えはないか。現在の計画に対する進捗状況は。

町長 昭和王穂中央通り線は、町と中央市の南北軸を形成する道路として、広域幹線道路の機能を果たす主要な道路。西条・昭和インター線の完成後、事業着手をする予定だったが、大型建設事業を優先し、集中的に施工したため西条・昭和インター線の事業着手が遅れ、一部を残し10月頃に供用開始となる。西条・昭和インター線を一日も早く完成させ、昭和王穂中央通り線の計画実現に向け、先行区間として昭和バイパスから甲府市川三郷線までの1020ヘクタールを工区に分け、県代行工事も含めた協議を県と継続して行い、財政状況を考慮する中で今後計画する道路の状況を踏まえて進めていきたい。

Q 障害者という用語の見直しは

A 国の動向を注視し適時変更する



堀 門太 議員

堀

精神分裂病が統合失調症、痴呆が認知症と時代が進むにつれ、さまざまな用語変更がされてきた。

障害者についても「害」の字が問題視され、厚生労働省の障害者制度改革推進本部では「害の部分だけ「がい」、「碍」、「チャレンジ」などの案も出されたが、結論が出ていない状態であり、国もしばらく従来通りの表記にとどまる見込みで、法律の改正に至っていない。

障害のある方を障害者と記すことに強い抵抗を持つ人はたくさんおり、厚労省の対応待ちではこの問題が解決でき



障害？ 障がい？ それとも...



るか分からない状況にある。町は国に先駆け用語変更を行い、障害のある方の福祉がより向上するよう努めていただきたい。なお、障害を前向きにとらえ、障害を得た者という考えに基づき、「障得者」もしくは、もっと客観的に障害を伴う者ということで「障伴者」と変

更するのが理想だが、町長の考えは

町長

全国的に独自に表記を変更しているところもあるが、山梨県は本町と同様の漢字表記を行っているようで、一部、ひらがな表記を使用している自治体もあり、

対応はさまざまだ。

「障害」表記の検討は、当事者がどのような呼称や表記を望んでいるのか配慮することが必要で、本町関係の障害者団体では、名称をひらがなの「障がい」に変更した団体もあると聞いている。昨年度、障害者団体の長を交えて策定した町障害福祉計画では、意見聴取の際、表記変更の意見は特になかったと聞いている。

町は基本的に、法令に基づく漢字の「障害」という表記を引き続き使用することを考えているが、国の動向も注視し、相談センターや防災計画等に使用したひらがな表記と同様に、ホームページなど個別に対応が可能なものは、適時、変更していきたいと考えている。

追跡



あの一般質問は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。

追跡 小・中学校生徒増員の対応は

平成26年6月議会 質問者：田中博愛議員

問 常永地区は人口増加が著しい。町内3小学校の1年生の児童数を推計すると、その児童が押原中学校へ進学した際、7学級以上となる。生徒増員に伴い、小中学校の施設の検証と対策が必要では。

答 今後、授業内容に大きな支障が生じる場合、小中学校教室の増築を検討したい。

その後

平成27年9月定例会で、常永小学校増築に伴う工事費等を増額補正。平成27年度中に完成予定。



教室増が決定された常永小学校





井戸端会議

地域住民と議員の対話集会

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

築地新居区(第1回)

7月17日 築地新居区公会堂

出席者 区民25名
参加議員 教育厚生常任委員会

石原高明、金丸富一
河田あけみ、河住保茂
石原一好
三井 猛議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 障がい者の補助金で風呂と補助手すりの同時改修は補助対象とならないが、手すりの後付けは対象となる。セツト改修も対象にならないか。

A セツト改修(浴槽、トイレ等)の場合は手すり設置工事にかかる見積もりが明細であれば支給できる。また障がいの等級や条件により、県の補助が受けられるので事前に町に相談を。

Q 下水道整備で区の東側が遅れているが。

A 区の調整区域における下水道管渠整備計画では、山伏川を境に西側を平成28年から30年度、東側を平成33年から36年度に整備予定。



議員定数16人は妥当か!

Q 現在の議会活動で議員定数16名は妥当か。報酬は少ないのでは。
A 今期統一地方選では議員定数、報酬について議論の末、現状維持となった。区民からいただいた意見を参考に任期中に結論付けたい。

西条二区(第2回)

7月21日 彩の広場管理棟

出席者 区民24名
参加議員 産業土木常任委員会

中澤康夫、葉袋義久
遠藤辰男、樋口敏夫
堀 門太
三井 猛議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q 旧満月東側の道路から、国母駅方面に新設道路を造れないか。また、交差点の形状が悪く曲がりにくい。隅切り等の改善を。

A 新設道路は、国母工業団地を通過している古府中環状浅原橋線に接続させる予定。また、西条・昭和インター線を南進させる前に隅切り(斜長5m)を設置することになっている。計画期間は平成27年から36年。

Q 町内すべてのコンビニにAEDが設置してあるが、実際どのように使用されているか、定期的に調べたほうが良いのでは。
A コンビニのAED設置に



コンビニ設置のAED使用は!

関わる覚書に「AEDが使用されたときは遅滞なく町に連絡するものとする」となっている。これまで使用した旨の報告はない。
Q 議員定数の検討を。
A これまで議論をしてきたが、区民からいただいた意見を参考に任期中に結論付けたい。

議員研修報告

[年8回開催予定]

山梨学院大学との提携行事

テーマ

第1回 7/9 地方自治と地方議会改革入門

講師：江藤俊昭教授（第1回～3回）

第2回 7/14 議会改革の到達点 - 議会基本条例を使いこなす

第3回 7/23 地方創生時代の総合計画の意義と課題

第4回 8/21 大型商業施設と既存商店の共存のあり方について

講師：今井 久教授

住民間と、そして議員
同士の議論に臨め！

議会基本条例の意味
をもう1度確認！

総合計画は町の指針を
示すもの。議会として
も慎重に！

町の資源を生かし、
大型店や既存商店の
共存に繋げよう！

ようこそ、昭和町へ！ —議会視察受入—

7/3 埼玉県宮代町議会

内容...議会基本条例、井戸端会議、
議会モニター制度について他



8/20 石川県志賀町議会

内容...議会基本条例、議会改革への
取り組み（井戸端会議等）に
ついて他



7/15 鳥取県琴浦町議会

内容...山梨学院大学との連携、政務
活動費、議会基本条例（政治
倫理）について他



10/1 静岡県松崎町議会

内容...議会アドバイザー、議会基本
条例、議会広報の取り組みに
ついて他



“議員記者が行く”を始めます!!

この度、議会だよりしょうわでは新しい企画として「議員記者が行く」を掲載することになりました。

「議員記者が行く」は、さまざまな場で活動している町内の団体に注目し、活動内容や団体結成のいきさつ、団体活動のPR等々、“ネホリ八ホリ”取材させていただく、編集委員による活動です。



私たちが伺います

議会だよりを通して団体活動を知ることで団体の活性化、また生き生きした町の発展に繋がればと考えています。

昭和町議会アンケート調査を実施!

平成27年10月11日、第27回昭和町ふるさとふれあい祭りが押原公園で開催され、山梨学院大学生の協力のもと、アンケート調査を次の通り実施しました。

アンケートにご協力いただきました皆さまには心より感謝申し上げます。



おもな内容

- Q 議会を身近に感じますか。
- Q 議会に興味や関心がありますか。
- Q 議会を傍聴したことがありますか。
- Q 議会だよりを読んだことがありますか。など…

アンケート調査の結果は次号（平成28年1月末発行）に掲載します。お楽しみに!

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

【ヒント】 議会だより167号(この号)を読んでください

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- 1 議員防災訓練 を学ぶ
- 2 平成26年度決算 財政力指数
- 3 告知 新企画! 広報編集委員による

166号クイズの答え

臨時
多目的
小川町
最優秀賞

昭和町 名誉ある議員「全国町村議会特別表彰」
バンガイム 素晴らしいですネ!!
県外の視察 ドンドン行って頂きまして
増々素晴らしい昭和町にして下さる!!
期待しております。
多目的広場 無事しめしてあります。

この他にもメールやFAXでたくさんのお返事を
いただきました! ありがとうございます。

前回の
お葉書で

こんなご意見を
いただきました!

(69歳・女性)

議会構成で
それぞれの委員会で活躍
されるフレッシュな先生方の
顔写真が大きく映り出
いて(選挙の時のポスターの顔を
写して下さるに)親近感の
わきまな活躍と期待しております。

(62歳・女性)

用語解説の年寄りにもよく
わかり助かります。

新しい議会スタートし議員さん
達の4年間町政をまかしておけ
た決意の伝へて来れる。
1通りお願ひ致します。

(78歳・女性)

議会だよりの感想

毎号「広報昭和」と一緒にポストに入っ
ているので併せて読んでいます。
他県から来て間もないですが、昭和田
の様子がいっぱい詳しく載っているのを感じ
ています。
一般質問のQ&Aも、しっかり読むと
行政に詳しくない私でも町のことやわ
かるので、今後も継続して下さい!

(36歳・女性)

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・議会だ
よりの読んだ感想」を記入してください。FAXやメー
ルも受け付けます。
議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

〒409-3880 昭和田押越542-2
昭和田議会事務局「議会クイズ係」宛
FAX: 055-275-0370
メール: gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》

11月末日 消印有効



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。



支えあい安心できる昭和町



紙漕阿原区
笠田 寿美子 さん

現在から25年前、昭和町区画整理で土地を購入し、家を紙漕阿原に建てました。幼稚園児だった子どもたちも成長し、この期間、山梨県に親戚もない県外出身の私たちを、昭和町に支えていただきました。

長女を出産して10年間、子育てのため主婦で頑張っていました。小学生から児童館のお世話になり、核家族の私でも看護師に復帰し、続けてこられました。子育てサポートの充実がなければできなかったことです。

昭和町はさまざまな医療機関がそろっています。その医療機関と協力し、いきいき健康課を中心に町民の皆さんの健康が守られています。子どもから高齢者まで、昭和町でかかりつけの医療機関を見つけることができ、安心して過ごすことができます。さらに、昭和町は健康には欠かせない新鮮なおいしい野菜が収穫され、JA昭和や商店で手軽に町の野菜が購入できます。最盛期には食べきれないくらいのおすそ分けもつれいいます。

25年間、昭和町の医療機関に勤務し、微力ながらも皆さんの健康管理のお手伝いをしてきました。これからも、看護師として地域の皆さんの支えになれるようにと思っています。

愛する町の飛躍を期待



河東中島区
鷹野 公俊 さん

私は18年間、この昭和町に住んでいる。この間に昭和町の景観はずいぶんと変化した。常永小学校の建設、押原小学校の建て替え、西条小学校の改築、イオンモール甲府昭和店の開店など、街並みが大きく変わり、めまぐるしい変化があった。

私は現在大学生であり、就職のことも考え始めている。昭和町で幸福な時間を過ごしてきたので、これからもこの町に住み続けたい。現状ではその夢は難しいように感じられる。これからも昭和町が住みやすい町であるためには、どのようなことが求められるのだろうか。

昭和町が発展したとはいっても、町内に企業は少ない。後藤知事は「2060年を目標に、定住人口75万人」と述べているが、就職先が山梨になければ、県外に出ていく者も多くなるだろう。昭和町に多くの企業が誘致され、交通網が整い、想定外と呼ばれるような災害にも対応できるシステムが整うなど、住みやすい環境になってほしい。

私はこの昭和町という町を愛している。何年か先にリニアが開通し、今よりずっと景観が変化しても、昭和町から山梨県全体が発展できるよう、町の今後の飛躍を期待し、見続けていきたいと考えている。

町へ意見書提出!

6月29日に起きたJR身延線事故。
当議会は7月10日に事故現場を含め、危険と想定される箇所を視察しました。現場視察を通し、議員一人ひとりの意見や要望・感想を、議会として意見書にまとめ、町へ提出しました。



- 広報編集特別委員会
- 委員長 石原 高明
 - 副委員長 堀 門太
 - 委員 林 和仁
 - 委員 金丸 富一
 - 石原 一好
 - 依田 茂巳

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

12月8日(火)開催予定です

議会事務局 TEL:055-275-8842

(今澤 磯部)

発行

山梨県昭和町議会
TEL:055-275-8842(直通)
TEL:055-275-2111(代)
山梨県中巨摩郡昭和町押越5-42-2 FAX:055-275-5250

